

第29回 全国街路事業コンクール

特 別 賞

表彰事業名：JR南武線（稲田堤駅～府中本町駅間）連続立体交差事業

表彰対象者：東京都 建設局 道路建設部

事業概要

本事業前は、踏切遮断時間が1日当たり4時間を超えるなど、歩行者の滞留や交通渋滞はもとより、一刻を争う緊急・救急活動等の妨げになるなど、深刻な影響を及ぼしていた。そこで、道路ネットワークの形成を促進し、踏切による交通の渋滞や地域分断を解消することを目的として、JR 南武線（稲田堤駅～府中本町駅間）約4.3 km を高架化し、道路との立体化を図ることで 15 箇所の踏切の除却及び付属街路の整備を行った。高架化された各駅舎デザインについては、沿線自治会の協力による意向調査等を踏まえ決定した。

また、本事業を契機とした駅周辺での土地区画整理事業等による駅前広場などの整備が進んでおり、新たなまちづくりに寄与した。

○事業延長：約4.3 km

○事業費：約614億円

○構造形式：高架方式

○事業期間：平成4年度～平成27年度

表彰理由

本事業で、踏切の除却及び交差道路が整備され、踏切遮断による交通渋滞の解消、円滑な消防・救急活動に寄与し、道路と鉄道それぞれの安全性が向上されたことが評価された。

また、高架下利用により地域の賑わい創出などの活性化が図られ、地域住民及び駅利用者の利便性・快適性が向上したことも評価された。

